

たばこ議会だより

ニだま

6月 定例会議

28年度一般会計補正予算 … P2

どう
お考えか? 7人が問う … P6~P12

政務活動報告 …………… P13

No.101

平成28年8月4日
熊本県多良木町議会発行

収穫期を迎えた たばこ農家

平成28年度 6月定例会議

6月定例会議は6月14日から6月22日まで開催した。

報告9件・条例2件・補正予算3件・人事案件5件等審議し、可決・同意した。また、議員発議4件が出され、平成28年度多良木町一般会計補正予算(第1号)については、原案可決したが、旧白濱旅館改修工事費関連予算の執行にあたってはより慎重に進める必要があると、付帯決議を提出し可決した。他3件は、熊本震災の復旧・復興に関する財政支援についての意見書を提出し可決した。

平成28年度 一般会計補正予算

補正額 1億1,061万7千円追加
補正後の総額は63億9,061万7千円

◆ 補正予算ピックアップ ◆

歳入 ○旧白濱旅館改修工事費関連予算

教育費国庫補助金(社会資本整備総合交付金)	1,693万円
教育費県補助金(空き家再生等推進事業補助金)	800万円
教育費(過疎対策事業債)	3,200万円

歳出 ○歴町50選事業費(旧白濱旅館改修工事費関連予算)

○歴町50選事業費(旧白濱旅館改修工事費関連予算)	6,030万円
○まちづくり推進事業費(多良木高校施設設備利活用アドバイザー委託料)	560万円
○庁舎維持管理費(受付カウンターの改修)	111万円
○災害対策費(宿日直手当・消耗品費・防災マップ作成・燃料費等)	1,198万円
○基金費(多良木町財政調整基金積立)	1,500万円

補正予算についての反対・賛成討論

◆反対討論

久保田議員 旧白濱旅館の事業については、町民への十分な説明と理解が進んでいない。改修後の利活用や運営方法、事業費についても明確ではなく、事業ありきで進めるべきではない。

瀬崎議員 この予算の旧白濱旅館事業には、どうしても同意ができない。これからの運営に対し、町民からも心配の声が出ているので安易に進めるべきではない。

◆賛成討論

吉瀬議員 旧白濱旅館に関する予算は、町長等の説明責任が果たされていないが、歴史文化遺産としての価値があるものは残していくべきである。中心街の再開発と活性化をめざす方向は正しいと思う。

賛成○（9）：反対●（2）

林田	中村	瀬崎	山中	吉瀬	魚住	高橋	源嶋	久保田	宇佐	豊永
○	○	●	○	○	○	○	○	●	○	○

発議 第1号

旧白濱旅館予算に物言い!!

今回の補正予算に、旧白濱旅館改修工事費関連予算として6,030万円が計上されている。議会と執行部に於いても数回にわたり協議が行われてきた。

旧白濱旅館改修事業は、くまもと歴町50選の指定を受けた五間道路界隈の明治・大正初期の価値ある建造物の改修であることについては理解しているところではあるが、町民の中には、当事業を理解されていない方・賛同されていない方がおられるのも事実である。事業の推進・施設の運用・予算執行についての検証を行い、町民に対し、事業内容の説明・周知に最大限の努力をすること、議会に対し、事業進捗等の報告を行い、工事費の安易な増額がないよう、よりよい事業への善処を強く求める。

提出者 中村 正徳 賛成者 全議員（正副議長を除く）

熊本地震に3つの発議

「熊本地震」により、極めて甚大な被害が発生している。この大災害からの復旧・復興には莫大な経費が必要であり、自主財源に乏しい熊本県においては危機的な財政状況に陥ることが懸念されることから、県議会では6月定例会において、本意見書と同様の意見書を国へ提出することが可決されている。

本議会においても、国による財政支援への明確な担保と長期的な支援の必要性や「チーム熊本」として一丸となって特別な財政措置を国へ要望することの緊急性・重要性に鑑み、今回本意見書を提出するものである。

提出者 林田 俊策 賛成 全議員

- 第2号 被害者生活再建支援法の改正を求める意見書
- 第3号 平成28年熊本震災からの復旧・復興に係る特別な財政措置を求める意見書
- 第4号 行政庁舎等再建についての国庫補助制度の創設を求める意見書

選挙管理委員会委員及び同補充員を指名推薦同意！！

選挙管理委員とは 執行機関から独立して選挙を管理するために、団体内部に設置される機関である選挙管理委員会【選挙を管理する代表的な名称の1つとして用いられており選管（せんかん）と略して呼ばれることもある】の委員である。

補充員とは 欠員が生じた場合、順次繰り上げとなる。

選挙管理委員

補充員

氏名	住所	順位	氏名	住所
前田 榮功	黒肥地	1	緒方 征枝	黒肥地
濱田 正昭	多良木	2	甲斐 繁久	多良木
満谷 恭亨	多良木	3	西田 宣康	多良木
筑紫 茂	奥野	4	恒松 一廣	久米

(敬称略)

固定資産評価員を選任 平川 博氏 (税務課長)

固定資産評価員とは 市町村長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、且つ市長村長が行う価格の決定を補助するため、市町村に、設置する。

人権擁護委員3名の推薦を可決！！

	氏名	住所
1	黒木 亮平	黒肥地
2	川邊 一教	久米
3	北川かほり	多良木

(敬称略)

人権擁護委員とは 人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティアである。法務大臣から委嘱され全国の各市町村に配置されます。

みなさんからの請願・要望

件名及び要旨	提出者の住所・氏名	審議
請願書 青少年健全育成基本法制定について	八代市海士江町 3364 熊本 Pure フォーラム 代表者 田中 力男 (紹介議員 源嶋たまみ)	継続
要望書 町道桑木丸線及び溝口線の道路改良について	黒肥地 2 区 区長 永井 明 ほか署名者 210 名	採択
要望書 綾北川「川鵜駆除対策」に関する要望書	綾北川槻木漁業組合 代表理事組合長 味岡 和國	採択

報 告 致 し ま す

副町長退任

久保田 善典 氏

おつかれさまでした

6月30日の任期満了により、退任されました。一般職員・副町長として約半世紀にわたり、町にご尽力いただきました。



政務活動 6月30日 姉妹町の南幌町へ！

両議会で「これからの交流」について意見交換

多良木高校生 議会傍聴！

議会から見たこと！？

3年生 久保田 雅希 君

議会傍聴は、初めての体験で楽しみでしたがその反面、とても緊張しました。議場に入ったときにはすでに、張り詰めた空気でした。町議会の方々が、福祉のことについて議論を交わしておられ、動画などで見るよりとても迫力がありました。途中からの傍聴だったのであまり理解はできなかったのですが、その時は多良木町の英語教育について話し合いをされていました。ALTの先生の数を増やしたり、授業の内容を改善したりして学力向上を図るという提案がなされていました。学校だけでなく町議会においても、学校教育について検討を重ねておられることが分かりました。とてもいい経験になりました。



3月議会を傍聴！

3年生 田中 美優 さん

私は、授業で多良木町議会を傍聴しました。議論されている議題は難しかったのですが、議会の仕組みや流れが分かりました。多良木町をよりよくする為に、町議会の方々が真剣に取り組んでいる姿を見て、このようにして町民の暮らしが成り立っているんだと初めて知りました。そして、先日十八歳になった私は、参議院選挙の投票を初めて経験しました。選挙権がなかった頃は、政治にあまり興味がありませんでしたが、選挙権があると分かってからは、進んでニュースや新聞を見て、政治について関心を持つようになりました。投票する前はたった一票で何が変わるのかと思っていましたが、みんなの生活がよくなるために私の一票が役立てられればいいなと感じました。これを機に少しずつ政治に興味を持って、これからも選挙がある度に「責任ある一票」を投票したいと思います。

ありがとうございました！ 次回は選挙権についてのアンケートを予定

魚住 憲一



Q 地震等の災害への備えは

A 備えはある

質問 本町は、「人吉盆地南縁断層」の上であり、マグニチュード7.1以上の地震が発生すると推定されている。ここ30年内に地震が発生する可能性は1%以下とされているが日本の活断層の中では高いグループにある。熊本地震クラスの地震が起こる可能性はあると言われている。町が災害時対

策用に備蓄している飲料水・食料・機材について伺いたい。

松本総務課長 23年度に町内二ヶ所に、飲料水500mlボトル960本、保存食1320食、機

材については発電機・投光器・ガス薪両用の炊き出し用の釜を備蓄、また消防団各部に発電機・投光器を1台ずつ貸与している。

Q プールの水の利用は

A 多良木小での活用を

質問 多良木小のプールに設置してある災害対策用飲料水浄化機を久米小、黒肥地小のプールに設置する考えは。

信國教育振興課長 多良木小に設置した災害対策用飲料水浄化機は交付金を活用できたことで、事業費

1億7千600万円に対し一般財源は510万円で設置した。飲料水を一人一日2リットルとして全町民に配布した場合22日分が供給できる。災害対策用飲料水浄化機は移動可能な機械であり、他にもポータブル型の浄化機もあるもので、それらを備えて置くのもひとつの方法かと考える。



飲料水浄化機が設置されている多良木小

Q 町の子ども貧困の対策は

A 国の政策に沿って

質問 子ども貧困の実体は17歳以下の子ども6人に一人、ひとり親世帯では2人に一人、といわれている。基本理念では、子どもに対する教育・生活・就労・経済的支援の施策を、子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることのない社会の実現を掲げている。地方公共団体は、子どもの貧困対策を総合的に策定実施しなければならぬと義務づけている。充実しているが町の認識は。

白濱子ども対策課長 子ども対策課においては、子ども貧困に限定した事業は実施していないが、国にしたがって実施している。

信國教育振興課長 教育委員会としては、就学援助費を経済的に困窮している世帯に給付している。

椎葉教育長 様々な形で支援しているが、自主申告であるので漏れないように実施していきたい。

町長 負の連鎖が起きないように今後、検討していきたい。



① 道路改良について

② ヘリポートについて

久保田 武治



Q 地震への対応と対策は適切か

A 改善すべき点を見直したい

質問 4月14日、16日の地震発生時の町長や町の対応と対策は適切だったのか。

町長 防災計画には適切だったと思うが、地震に対する部分では、改善点を整理して見直したい。

質問 地震時に、湯前・あさぎり町では緊急放送がなされたが、本町で放送されなかったのはなぜか。
松本総務課長 震度4以上で放送するよう設定しており、業者の調査では、「信

号は発信されたようだが、震度3だったことや、防災無線がアナログ形式で地震

計との差が出て、放送されなかったのでは」との報告があり、今回、震度3以上に設定を変えた。

質問 耐震診断や補強に自治体が補助して、耐震改修を促進しているところもあるが、本町のリフォーム助成制度を活用した事業はできないか。

小林環境整備課長 現在はリフォームのみだが、空き家対策事業などの財源を活用し、検討していきたい。

質問 災害対策基本法の改正で、罹災証明書発行のための職員の育成と、配置が規定されていたのに、本町

ではなされていないがどうしてか。

松本総務課長 改正された規定を知らなかった。5月に開催された罹災証明書発

行説明会に2名を派遣し、被災地の益城町と嘉島町への職員派遣を通して育成を図っている。

Q 町長の海外研修2回の支出額は

A 約52万8千円である

質問 町長は就任以来、海外研修には何回行ったか。

町長 2年に1回ぐらいは、県の町村会で海外研修が計画してある。

質問 昨年は東南アジア、今年は台湾と2回の海外研修に行き、東南アジアの時が町から6日分、2万3千500円の出張費が生まれ、旅費と宿泊費は県町村会負担となっているがいくら支出されたのか。

質問 台湾研修は、航空費11万5千200円と日当1万8千円が町から支出され、他に県助成金5千円と郡町村会から3万円が支出されている。これは公金、税金の支出ではないか。

町長 全額が公金の支出ではないがとらえ方としては公金だと思う。

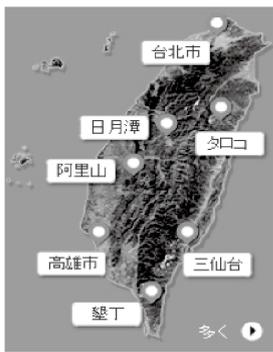
松本総務課長 県町村会から一人当たり33万7千円ほどかかったとの報告である。

質問 海外での研修は本当に必要なのか。国内で町づくりに頑張っている自治体で研修し、その成果を本町の施策に生かすことこそ必要ではないか。

町長、町村長間の情報交換も行っている。海外を見るのは必要だと思う。



防災無線室



研修先の台湾

- ① 小・中学生の健康管理について
- ② 国営川辺川利水事業について

源 嶋 たまみ



Q 先行型交付金の
効果検証は
A 県の締め切り
8月までに

質問 地方創生先行型の
実施計画によるKPIに対する
効果検証が平成28年3月と
なっているが、どのように
効果検証され、改善策の計
画・今後のKPIはどのように
なったのか。
松本総務課長 効果検証
は、県の提出期限8月まで
に予定している。各課単位

での実績があるので、KPI未
達成の時は原因を検証、総
合戦略推進委員会に諮問し
検討を行い、議会活性化特
別委員会に報告、最終的に

県へ報告という形で進めた
い。
※KPIとは↓重要業績評価指数
(具体的な数値目標・わかり
やすい指標)

Q 生涯学習センターは
A 議会との協議で

質問 町民集会場を保存・
改修し、図書館としての活
用を考えているとのことだ
が、生涯学習センターとの
兼ね合いと進め方は。
信國教育推興課長 生涯学
習センター検討協議会で

は、町民集会場を図書館と
して活用するという答申
を出され、生涯学習セン
ターについては、多目的研
修センター改修に兼ねると
された。今後は、住民周知
等の中で意見をまとめなが
ら、議会との協議を行って
いく。



どうする多目的研修センター

質問 行方不明者の捜索の
現状と方法はどのようにさ
れているのか。また、防犯
カメラの必要性についてど
うお考えか。
松本総務課長 捜索は不明
者の親族が警察へ捜索願
いを出され、その後、町へ捜
索依頼される。警察署・上
球磨消防署・消防団員を中
心に、役場職員・地域住民
ボランティアの方々にも防
災無線による呼び掛けをす
る。また、親族へ個人情報
等の意思確認を行い、資料
の配布・防災無線での周知
を行っている。防犯カメラ
については「4町村連携
で」という意見も出ている。
無料設置ができるサーフ
ティーカメラ、というシス

Q 行方不明者捜索の現状は

A 警察・消防署・消防団員の協力で

テムを検討していきたい。



消防団による不明者の捜索

①地方創生について

高橋 裕子



Q どうしていくのか！
「社会教育」

A 潤いと活力ある地域
づくりを

質問 公民館長は教育長が兼務し、公民分館活動は総合開発計画の施策大綱にあり、町のバイブル的意味を持っている。地方創生の中での位置づけと計画の考えは。

山田教育委員長 分館活動は地域活性化の核・地方創生の重要な柱である。地域に根差した自主的活動による人材

育成・地域おこし等、連携を図りながら推進したい。

質問 社会教育法に、専門職として「社会教育主事」を置くとしているが有資格者はいらぬのか。

椎葉教育長 教育委員会にはいない。今後、資格を取らせていきたい。

Q 大丈夫か！
災害時の安全確保

A 実践的な総合
防災訓練を

質問 熊本地震においては、避難時の道路確保の重要性を改めて認識させられた。久米地区道路の課題についても、県との調整をとっていることであつたが、政治家としての交渉の在り方が不足しているのではないか。

町長 町の要望により、県の調査はあつているが、難しい状況と思つている。

質問 今回の地域防災計画で、避難地域の見直しはあつたのか。避難場所への安全確保・防災訓練の計画は

松本総務課長 避難場所の見直しは行つていない。避難移動が困難な場合、消防団積載車・マイクロバスでの対応を考へている。今後は、避難場所として多良木高校の施設を活用できないか相談するとともに実践的総合防災訓練を計画している。

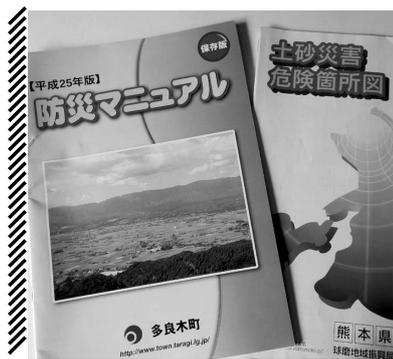
質問 防災と情報システムの連携事業という交付金事業がある。災害時の確かな情報配信中に、光ネットを活用した取り組みの計画はあるのか。

町長 重要性は本当に感じている。有線・無線の確保は必要だが事業費等の課題がある。

質問 複合災害、特に川内原発事故発生時の防災計画はあ

るのか。

松本総務課長 東日本大震災時の原発事故後、地域防災計画に原子力災害対策計画を追加した。県との連携・避難に関する広報等、情報伝達が主な業務になる。



大切な防災マニュアル

Q どうなっているのか！
学校教育

A 提案・協議の
必要性がある

質問 学校教育の場における専門的指導をする教育指導主

事は、必要という答えであつたがその後の対応は。

山田教育委員長 具体的協議の場はなかつた。協議を進めていきたい。

質問 幼稚園休園後の幼児教育のあり方や指定管理としてある町立保育園について、方向性の協議はされているのか。

町長 今年度中には方向を出したい。

質問 中学校の多良木高校への移転の考へが県への要望としてあるようだが、教育委員会での協議はされたのか。

椎葉教育長 教育委員会としては、していない。

① 「地域で生き抜く」
槻木地区について

中村 正徳



Q 教育長を任命する
基準は

A 中立性を保ちながら

質問 「教育基本法」が60年ぶりに改正され、「委員会」の職務権限は変わらな
いが、新教育長の権限は、
事務方から委員会の責任者
及び事務局を指揮監督する
立場になる。権限が増大し

た教育長を任命するのは町
長である。町長は任命権者
としてどのような基準で任
命するのか。

町長 これまで通りに議会
の同意があるので、中立性
を保ちながら任命してい
く。

Q 地震を教訓に本町の危機管理は

A トップダウンでやるべき

質問 震災発生時「首長の
果たす役割は何ですか」と
言う問いに宮城県松島市阿
部市長は「初動の対応は
トップダウンで、首長が責
任を取る覚悟で決めなけれ
ば、職員・住民の信頼を損
ない、その後の復旧・復興
はうまくいかない」また旧
山古志村長で長島忠美復興
副大臣は「最前線に立つて
指揮を執ることが、過酷だ
が覚悟を決めるしかない」
と、どちらもトップダウン
で首長が決断すべきと述べ
られている。町長はどのよ

うに対処されるのか。

町長 二人の経験者の発言
は貴重である。数秒での判
断が生死に係るということ
にもなるのでトップダウン
でやるべきと考えている。



災害に備え

町長 小林市と促進協議
会を40年近くやってきてい
る。陳情も市長とともに同
行し、交通量の増加を目指
して要望してきている。金
額はかかると思うが観光面
や木材の搬出等の効果も考
えられる。小林市の支援を
受けながら今後も国・県に
働き掛けていく。

Q 久米通りとトンネルは

A 県土木部との協議を進めている

質問 県道中河間線の通称
久米通りで、道路が狭く見
通しが悪いところがある。
改良の考えは。また槻木ト
ンネルの考えは。



見通しの悪い久米通り

小林環境整備課長 道路が
狭く危険性があると認識し
ており県土木部と協議をし
ている。槻木トンネルにつ
いては事業費が高く、財政
的に厳しいところがある。

吉瀬 浩一郎



Q 町長の旅費は高額では

A パックで手配

質問 町長は27年度の出張旅費に107万2千円使っている。8月にインドネシア・

明けて1月は台湾へ行かれている。町村会での旅費の負担を含めると、その金額以上であると考ええる。東京・横浜・千葉の関東方面へ12回、群馬・山梨・富山・青森・北海道等合計18回である。毎月のように出張をしていて腰を落ち着けての町の仕事ができるのか。また2泊3日で9万4千円・1

泊2日で7万5千円は高いのでは。

松本総務課長 航空券とホテルのバックツアーをくま川鉄道を通じ手配している。また価格面では割安という認識をしております、1週間前まで変更可能である。早割等は支払期限が3日以内でありキャンセル料金の発生がある。

町長 町村会海外研修は、共済金の取り扱い交付金の手数料金であり、すべて町村会の負担である。町村の負担金は、熊本県の31町村で99万円の負担である。

Q 誘致活動3年で4回は不足では

A 情報があり次第行く

質問 出張中午前のみで終わる会議や要望もあるはず、時間を調整して企業訪問し、誘致の公約を果たす努力はしているのか。3年間で4回のみと、11年4カ月の就任期間中に企業誘致

はできていない。今回の地方創生加速化交付金の実施計画では「企業誘致のやり方を見直す」とあるが、長期戦略に欠け、誘致ができていない。会社訪問を真剣に

Q 航空マイレージの使い道は

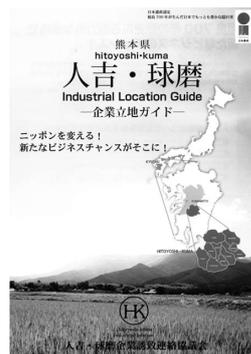
A 現在1回も使っていない

質問 町長は11年間マイレージを取得していると聞く。公金で取得したものは当然公務に使われるべきと思うが、その使い道は。

町長 航空各社2枚保持しているが、公用にも私用に

も今まで1回も使っていない。3年ぐらいすると無効になるようだが、私費で獲得したものも一緒のカードではある。今後公務に有効に使用していきたいと思う。

やっているのか。
町長 回数と場所が少ないと言われても仕方ないが「情報があり次第行く」気持ちはあるので、議員からでも情報を頂ければと思っています。



企業誘致ガイド



どう使う マイレージカード

①地方創生の展望は

宇佐 信行



第5次総合計画 農林業の方向性は 有利な補助金等の 利活用も必要

Q

A

質問 米を主とした土地利用型農場の競争力強化とコスト低減を考えているが、5年後の経営体ビジョンは。

久保農林課長 担い手の中心である認定農業者については138の経営体があり、うち5つの経営体が農業生産法人に移行している。今後の経営形態としては、従来

の稲作・葉たばこ・施設園芸・肉用牛・酪農・果樹等の複合経営の振興に加え、法人化による、大型機械導入等での土地利用型作目を検討したい。

質問 町のブランド米についての考えは。

久保農林課長 現在本町では「ヒノヒカリ」と「こまる」等が作付され、2品種で96%を占めている。本年、県でオリジナルの水稻品目「熊本58号」が開発され試験的に栽培取組をしているが、その動向をみて関係機関と協議し導入について検討したい。

質問 地産地消、販路拡大等について具体的な戦略は。

久保農林課長 年々売上が増加しているえびす物産館での販売、学校給食への活用を中心に注力していきたい。

岡本企画観光課長 販売拡大については、地方創生加速化交付金事業において専門的な知識をもったアドバイザーを受け入れ、広域的な連携を含めて取り組みたい。

質問 森林整備において天然林の保全管理、また民有

林の広葉樹の苗木代の補助は。

久保農林課長 森林資源の充実と山林の公有的機能を考える時、天然林の保全については今後の課題となってくる。現在県の造林補助事業においては、条件によつて9割程の補助がある

Q 上水道の漏れは

A 優先順位で

質問 災害時に備えたインフラ、特に上水道の漏れ及び老朽化に対する今後の整備計画は。

小林環境整備課長 排水管の老朽化については、法定耐用年数40年を超えるものが平成31年度より増加する。財源的な問題もあるが、漏水履歴・管種ごとの耐震性・更新の優先順位等を設

で町の補助は考えていない。

町長 町も、森林整備においては、薪の生産等を加速化交付金の中に入れていますが、今後広葉樹植栽には積極的に取り組んでいきたい。

供給の為に水源林の購入について推進していきたい。



小鶴谷の水源地

質問 水源確保の為の林地購入計画は。

久保農林課長 宮ヶ野地区の水源かん養林についてはこれまでに24畝程を購入してきたが、現在13畝を相談中で今後も安心安全な水の

①木質バイオマス事業について

政務活動報告

厚生環境文教常任委員会 6/29~7/2

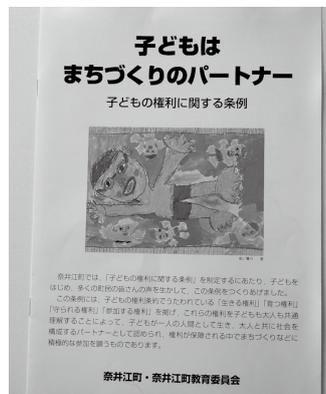
◆北海道空知郡奈井江町 人口5,688人 世帯数 2,890世帯

研修内容 **子育て支援の取り組みと「子どもの権利条例」について**

町は「定住・子育て支援充実宣言」をし、「奈井江町健全育成の町」として権利条例制定の方針を「子どもに目を向けていたのか」「子どもだからと考えていなかったか」「まちづくりのパートナーとして」「大人も変わる必要が」とした。

概要として4つの権利「生きる権利・育つ権利・守られる権利・参加する権利」その他、町・町民・学校の役割を定め、まちづくりを進めている。

子どもの未来を築くためにも、ある意味大人のための条例であるという結びであった。



子どもはまちづくりのパートナー

◆一般社団法人 **小樽観光協会**

歴史的建造物の保全に対しては

財源として⇒「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり寄付条例」

「景観条例に基づく登録歴史的建造物の保全事業」等として進めて来ている。

研修内容 **観光協会立ち上げにおける課題研修**

観光として大切なこと⇒ 新しい・こまめな・早い情報の提供と観光業との連携

観光協会の管理運営上の課題⇒人材確保のための待遇改善・自主財源の確保・

組織体制の強化（関係団体等の統合）

小樽観光の課題⇒観光を損ねる広告・モラルに反する商行為・観光推進体制の構築・

「また来たい」と思わせる仕掛けづくり

観光として大成している小樽の研修は、観光という生き物を生かしていくことの難しさを深く考えさせられた。
(文責 高橋 裕子)

総務産業常任委員会政務活動報告 平成28年度6月28日～7月1日

◆北海道上川郡美瑛町 人口10,520人 世帯数4,777世帯

美瑛町は北海道のほぼ中央にあり、農業と観光の町である。

研修内容 『美しい農村景観を活かしたまちづくり』

『廃校の利活用について』

◆北海道夕張郡由仁町 人口 5,488人 世帯数 2,467世帯

研修内容 『ハーブのあるまちづくり事業』

『「小町キラリ」由仁PR』

◆北海道夕張市長沼町 人口 11,489人

世帯数 4,324世帯

長沼町は空の玄関千歳市と隣接しており都市即効型の田園地帯の町である。

研修内容 『グリーンツーリズムの事業』

『どぶろく特区事業』 (文責 宇佐・豊永)



たまねぎ、にんじんなどの食品加工場として利用されている。(旧 旭中学校)



どぶろく特区(平成17年7月19日認定)
5戸の農業者が、醸造酒製造免許と営業許可を取得



甘くなあ〜れ 黄桃（久保農園）

豆ちしき

地震対策はどぎゃんなったとなー？



多良男

地震はおとろしかったなー
町は対策ばどぎゃん考えとったとなー？

ほーそら、どぎゃんなったとな

へーじゃー下水関係は

田んぼんことは、どぎゃんなったとな

税金も待ったなしやろ。

へー色々考えちゃおったばいなー、
ばってん自分の身は自分でんてます
守るごたる事ば考えとかんばんな。

こんどん議会で分かったとばってん
町もいろいろ考えとったばい。

今までん計画は震度6の想定ば7に上げて 広報やらで防
災の意識ば高めて 防災無線やらで正確に情報ば提供して
飲料水は自衛隊の応援やら多良木小学校のプールの水ば
濾過して 使わるることなとったばい。

そらー建設関係やらの会社と協定ば結んで 発電機ば用意したい
パキュムカーの手配ばすつとたい。

田んぼんことは、はよう農業用水の確保、畜舎の電源確保そい
から人のかせいや共済の支払ば早うしてもらごうこと JA やら
と情報ば共有しながらすつとげなばい。

また、怪我ばしたとき 健康保険書がなかつたとき 支払う銭んの
なかつたとき払うとば待ってもらごうたり、あうしてもらごたつと
とも考えてあつごたるばい。
福祉避難所は3ヶ所と協定して人手不足にならんごと体制ばた
のんであるごたる。

そいも減免やら猶予ば考えてあるごたるし、家の倒れたら境
界線の問題も考えとつごたる。
そいからいまから要援護者の年寄りやら障がい者・腹の太か
人・赤ちゃんやらの名簿ば作つといて対応していくとげな。
学校やらの給食も食料提供者と事前に打ち合わせすつとばい。

じゃつとばい、そいが一番よな。



球磨雄

編集後記

あの地震から3ヶ月、震度7が
2度も熊本県を襲うとはまさに想
像すらしませんでした。

そしてまだたくさんの方が避難
所暮らしをされている状況、追
うちをかけるような梅雨の大雨。
本当に自然の脅威には、私達の

暮らしはもろいものだど痛感させ
られました。

不幸にも亡くなられた方、被災
された方には、心よりお悔み申し
上げます。幸い人吉球磨には大き
な被害は出ませんでした。観光
客の減少等、地域の経済は冷え込
んだままです。でも、下を向いて
ばかりいても始まりません。

「がんばろう熊本！がんばろう人吉
球磨！そして、がんばろう多良木
町！」いよいよ暑い夏本番ですが、
この困難を、どぎゃんか乗りきろ
うではありませんか。

（文責 宇佐 信行）



広報特別委員会構成

- ◎ 山中 馨 久保田武治
- 高橋 裕子 宇佐 信行
- 林田 俊策 豊永 好人